

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	哲学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	後期	教室名	
担 当 教 員	竹島 尚仁	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
哲学の基本的な考え方を概観しつつ、とりわけ倫理的な価値をどのように扱うかという点について、現代社会の出来事と照らし合わせながら、哲学的な思考を身に着けていく。その過程で、現代における哲学的・倫理的課題や歴史上の哲学的・倫理的学説に触れる。これらの学習から、医療者としての倫理意識を高めていく。						
《成績評価の方法と基準》						
終講時レポート評価(100%) 提出期限に遅れた場合は減点対象となる						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書は使用しない。必要な資料は配布する。また参考文献を随時紹介する。						
《授業外における学習方法》						
映画、小説やいろいろな人の生き方や価値観、また現代社会において生じているさまざまな出来事やその背景に関心をもち、それらについて哲学的・倫理的な洞察を深め、自分自身で物事を判断できる力を身につける。						
《履修に当たっての留意点》						
授業内での質問や応答を通じて積極的に授業に参加する。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	1.哲学とはどのような学問か、諸領域にどのような内容があるか理解し倫理学の必要性について述べることができる。	授業時配布資料	関連資料を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	哲学の諸領域と倫理 倫理とは(1)			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	1.法律と倫理の関係について説明することができる。	授業時配布資料	前回授業資料を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	倫理とは(2) 法律と倫理			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 哲学と倫理の大前提である「自由」がもつ意味を説明できる。	授業時配布資料	前回授業資料を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	倫理とは(3) 倫理と自由、自由と強制			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	1.倫理的問題の類型1～4がどのようなものであり、そしてその解決法がどのようなものであるかを述べることができる	授業時配布資料	前回授業資料を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	倫理的問題の類型1・2・3・4			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	1.倫理的問題の類型5がどのようなものであり、そしてその解決法がどのようなものであるかを述べることができる。	授業時配布資料	前回授業資料を読んでおく	
		各コマにおける授業予定	倫理的問題の類型5			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	1.倫理的問題の類型6がどのようなものであり、そしてその解決法がどのようなものであるかを述べることができる。	授業時配布資料	前回授業資料を読んでおく
		各コマにおける授業予定	倫理的問題の類型6		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	1.生命とその価値について述べるができる。	授業時配布資料	前回授業資料を読んでおく 課題レポート作成
		各コマにおける授業予定	生命とその価値について哲学的・倫理的に考える。		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 生命に対するさまざまな倫理的学説を説明できる。	授業時配布資料	前回授業資料を読んでおく
		各コマにおける授業予定	人間中心主義、感覚中心主義、生命中心主義、生態系中心主義など		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 人格的生命について自分の考えを述べるができる。	授業時配布資料	前回授業資料を読んでおく
		各コマにおける授業予定	人格とは何か		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 人間にとっての死への恐れについて自分の考えを述べるができる	授業時配布資料	前回授業資料を読んでおく
		各コマにおける授業予定	死への恐れ		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 人間にとっての人生に意味について、自分の考えを述べるができる	授業時配布資料	前回授業資料を読んでおく
		各コマにおける授業予定	人生の意味		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 行為(医療行為を含む)を功利主義的に評価するとはどのようなことかについて述べるができる。	授業時配布資料	前回授業資料を読んでおく
		各コマにおける授業予定	功利主義とは何か		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 行為(医療行為を含む)を義務論的に評価するとはどのようなことかについて述べるができる。	授業時配布資料	前回授業資料を読んでおく
		各コマにおける授業予定	義務論とは何か		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. そもそも行為を評価するうえで、どのような視点をもつべきかを述べるができる。	授業時配布資料	前回授業資料を読んでおく
		各コマにおける授業予定	行為をどう評価するか——功利主義と義務論を超えて		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	1. 哲学的・倫理的的思想の根幹にある自由のもつパラドクスについて説明できる。	授業時配布資料	前回授業資料を読んでおく
		各コマにおける授業予定	消極的自由と積極的自由		